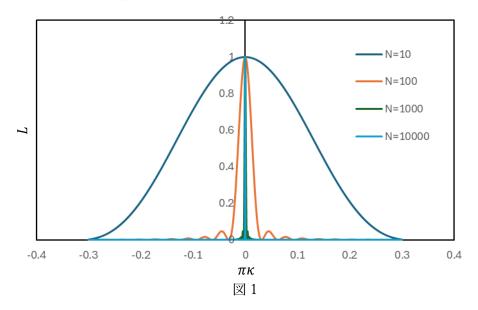
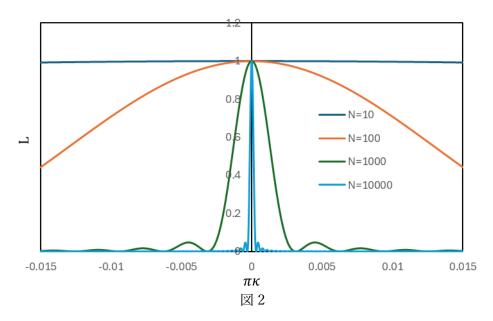
8223036 栗山淳

固体構造解析学 第11回 課題

規格化された Laue 関数: $L = \frac{1}{N^2} \cdot \frac{\sin^2(\pi \kappa N)}{\sin^2(\pi \kappa)}$

- 1. N = 10,100,1000,10000と増加させたとき,
- $-0.3 < \pi \kappa \le 0.3$ の範囲を0.00001間隔でLをグラフにすると次の図1のようになる。
- $-0.15 < \pi \kappa \le 0.15$ の範囲を0.00001間隔でLをグラフにすると次の図 2 のようになる。





2. πκの原点近傍のピークの FWHM を求めると表 1 のようになる。

表 1

N	10	100	1000	10000
FWHM	0.27952	0.02784	0.00278	0.00028

8223036 栗山淳

3. 2 で求めた FWHM を横軸 $\log_{10} N$,縦軸 $\log_{10} FWHM$ のグラフに表した。

